

第2回秋フォーラム

「生徒が育ち、教師も元気になる『英語教室』を作りたい」



講演「生徒が育ち、教師も元気になる『英語教室』を作りたい」

蒔田 守先生（筑波大学附属中学校教諭）

講演概要

大学生になると英語をまったく勉強しない学生が増えるという話を聞いた。大学入試が英語学習のゴールとなっているためらしい。まことに人間らしい話だが、中学校で週4時間授業しているものにとって、自分の授業はどこに向かっているのか考えさせられる。一方で、日曜日の夕刻になると翌日の授業のことで気が重くなる『サザエさん症候群』教師の数は相当数に達するようだ。教職に憧れて、教職を天職と思い教師になったはずなのに、なんだか情けない。このような現状を鑑み、生徒が英語をコミュニケーションの道具ととらえ、自分の将来を切り開くための手段として学び、教師はそれを援助する、生徒が育ち、教師も元気になる『英語教室』を作りたいと願う。そのための基本的な考え方、具体的指導方法、生徒の活動例などを取り上げ、これまでの授業を振り返りながら、4月からの授業に活気を取り戻し、自分らしい『英語教室』を作り上げる一助としたい。

講演者プロフィール

川崎市立川中島中学校（12年）、横浜国立大学教育学部附属横浜中学校（3年）を経て、現在、筑波大学附属中学校教諭。英語教授研究学会（英授研）理事。98年度語学教育研究所「パーマ一賞」受賞。著書に『生徒を変えるコミュニケーション活動』、『すぐれた英語教授実践』、『どの子どもも英語が好きになりたい 英語教育DVD Six-way Street』等がある。

スケジュール

13:00-13:10	開会行事
13:10-14:40	講演 第1部
15:00-16:30	講演 第2部
16:30-16:35	閉会行事

